

平成24年度

**真名川ダム・九頭竜ダム
水源地域ビジョン推進委員会**

平成25年2月



I. 平成24年度の各機関の取り組み状況				
1. 森と湖に親しむ旬間行事	森林	水	交流	1
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり	森林		交流	8
3. 第5回もりみずカップ少年サッカー大会			交流	11
4. 『水源地の森づくり』第7回植樹会	森林		交流	12
5. 越前おおのエコフィールド	森林		交流	14
6. 越前おおの湧水文化再生計画		水	交流	16
7. NPO法人九頭竜自然楽校	森林	水	交流	18
8. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ		水	交流	20
9. 真名川ダム弾力的運用管理		水		22
10. ダム湖の自然環境保全の取り組み		水		24
11. 流木の有効活用	森林		交流	26
12. ダム湖周辺の紅葉情報提供			交流	28
13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携			交流	30
14. 真名川ダムのダム内部見学			交流	32
15. 九頭竜ダム展示室			交流	34
16. ノーム自然環境教育事務所			交流	36
17. 大野市森・水保全条例の制定	森林	水		39
18. カヌーを使った水辺の安全教室			交流	41
19. 越前おおのブランド戦略の策定			交流	42
II. 平成25年度の活動について				44
【参考資料】				47

水源地域活性化のための活動



1. 森と湖に親しむ旬間行事



概要

※赤枠は平成24年度に新規実施

- 【目的】国民のみなさんが森と湖に親しみ心身をリフレッシュしながら、森林やダム湖の重要性について理解を深めていただくこと。
- 【実施内容】**真名川ダム見学会（平成24年7月28日（土））**
福井県が管理する7ダムの見学・説明会（平成24年7月28日（土））
（笹生川ダム、浄土寺川ダム、龍ヶ鼻ダム、永平寺ダム、広野ダム、榎谷ダム、大津呂ダム）
九頭竜ダム・長野地下発電所見学会（平成24年7月29日（日））
- 【主催】森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
- 【構成機関】福井森林管理署／福井県／大野市／電源開発(株)／北陸電力(株)／関西電力(株)／九頭竜川ダム統合管理事務所
- 【関連行事】第5回もりみずカップ少年サッカー大会（平成24年7月7日（土）、8日（日））
- 【事前PR】県内を対象に新聞広告で事前PRを実施

7/28日・29日は、ダムまるごと見学会
ダムの圧倒的スケールを体験しよう!

28日(土) 10:00~16:00 真名川ダム体験!

【見学・体験】夏でもひんやり内部通路／普段は見る事が出来ないゲート室／大看板／結構高い! キャットリール／小枝工作／各種パネル展示など。
 【プレゼント*】ダムに流れ着いた流木、泥木などから作ったおが粉、地肥

29日(日) 10:00~16:00 九頭竜ダム体験!

【見学・体験】冬季連絡通路から128mのロックフィルダムを体験／ゲート操作室／簡単な流木工作教室／各種パネル展示など。【長野発電所見学】県内の水力発電で最大の地下発電所（竜巻発電、北陸電力、関西電力）
 【プレゼント*】ダムに流れ着いた流木、泥木などから作ったおが粉にのみます。

詳しくは、九頭竜川ダム 事務所
 7月21日～31日は、「森と湖に親しむ旬間」です。
 国土交通省 近畿地方整備局
 九頭竜川ダム統合管理事務所
 TEL.0779-66-5300

28日(土) 11:00~16:00 福井県が管理するダムの見学・説明会
 (会場: 各ダム) 笹生川ダム(大野市)、浄土寺川ダム(奥山町)、広野ダム(奥越前町)、榎谷ダム(奥越前町)、龍ヶ鼻ダム(新井町)、永平寺ダム(永平町)、大津呂ダム(おんね町)
 問合せ先: 福井県土木部防犯防災課 TEL.0776-20-0482

各行事は、気象条件などにより変更または中止とある場合がございます。

28日(土) 29日(日) 真名川ダム・九頭竜ダムのダム見学会を開催

ダムのスケールを体験!

真名川ダム(大野市) 高さ: 128m
 九頭竜ダム(おんね町) 高さ: 128m
 九頭竜発電所(おんね町) 高さ: 128m

～7月21日～31日は、森と湖に親しむ旬間です～

森と湖に親しむ旬間

主催: 森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
 九頭竜川ダム統合管理事務所、福井森林管理署、福井県、大野市、電源開発(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)

※各行事は、気象条件などにより変更または中止とある場合がございます。

問合せ先: 国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 TEL.0779-66-5300

28日(土) 10:00~16:00 真名川ダム

真名川ダム 堤体内見学会

- 美しい森づくりを目指して展示と森のマスコット作り (福井森林管理署) 湖周辺の森林保全の取組を紹介、小枝を使った工芸品「モリ」作りを行います。
- 福井の森とダムについて学ぼう (福井森林管理署・森づくりの課) 湖のダムや森の保全について、パネルで紹介いたします。
- 再生可能エネルギーについて考えてみよう (北陸電力) 再生可能エネルギーの導入に向け森の取り組みや環境保全活動などについて、パネルで紹介いたします。
- ダムマニア～ダムの魅力を語る～ (北陸電力) 真名川ダムに流れ着いた、自然が作り出したアートな流木、お枝やお草葉など、お持ち帰りください。
- 流木を有効利用したおが粉をプレゼント (北陸電力) 真名川ダムの流木からおが粉を作りました。ご自由に持ち帰ってください。お枝の代用品として活用される方に、戻ります。

※なくなり次第終了

29日(日) 10:00~16:00 九頭竜ダム

九頭竜ダム ゲート室見学会

普段は入ることができないゲート室、連絡通路などを案内。ダムの大きなゲートと高さ128mのダムのスケールの実感を味わえます。

長野発電所見学会

(電源開発・北陸電力・関西電力)
 地下に隠れている発電所の大きさにびっくり! 県内の水力発電所で最大の地下発電所を見学してみよう。

●森がはくくむ湧水文化を学ぼう (大野市) 湧水文化館に隣接するおんね川水納め貯留池を巡る自然環境の魅力を紹介します。

●ダムマニア～ダムの魅力を語る～ (北陸電力) 九頭竜ダムに流れ着いた、自然が作り出したアートな流木、お枝やお草葉など、お持ち帰りください。

●流木でアート、工作教室 (北陸電力) さまざまな形の流木を使って、簡単な工作にチャレンジ。

28日(土) 11:00~16:00 福井県が管理するダムの見学・説明会

会場: 各ダム (笹生川ダム(大野市)、浄土寺川ダム(奥山町)、広野ダム(奥越前町)、榎谷ダム(奥越前町)、龍ヶ鼻ダム(新井町)、永平寺ダム(永平町)、大津呂ダム(おんね町))
 プレゼント: 福井県では、ダム湖に流れ着いた流木、お枝などから、おが粉や地肥を作ります。

問合せ先: 福井県土木部防犯防災課 TEL.0776-20-0482

■平成24年7月22日（日）朝刊

■平成24年7月27日(金) 旬間行事前日の朝に福井新聞掲載

真名川ダム見学会

【開催日】平成24年7月28日(土)

【来場者】約270人

【参加機関】福井森林管理署／福井県／北陸電力(株)／ダムマニア／九頭竜川ダム統合管理事務所



■真名川ダム会場



■真名川ダムの見学（非常用ゲート操作設備、堤体内通路、キャットウォーク、管理用発電設備、噴水設備など）



■工作教室（森のマスコット作り、スマートボールゲーム）
福井森林管理署



■流木工作教室
地元業者による協力



真名川ダム見学会

※赤枠は平成24年度に新規実施



■パネル展示
福井森林管理署



■パネル展示
福井県



■パネル展示
北陸電力(株)



■パネル展示
九頭竜川ダム統合管理事務所



■ダムマニア ～ダムの魅力語る～
プレゼンテーション、写真の展示



■流木、堆肥・おが粉の配布

記載省略

読売新聞
平成24年7月27日(金)朝刊

■掲載された新聞記事等

記載省略

福井新聞
平成24年7月27日(金)朝刊

記載省略

中日新聞
平成23年7月29日(日)朝刊

記載省略

日刊県民福井新聞
平成23年7月29日(日)朝刊

福井県が管理する7ダムの見学・説明会

※平成24年度に新規実施

【開催日】平成24年7月28日(土) 【来場者】34組67名(7会場)

【開催ダム】笹生川ダム(大野市)、浄土寺川ダム(勝山市)、龍ヶ鼻ダム(坂井市)、永平寺ダム(永平寺町)、
広野ダム(南越前町)、榎谷ダム(南越前町)、大津呂ダム(おおい町)

【実施内容】ダム見学会では、ダム管理用コンピュータシステムなどの見学、ダムの構造等の説明を行った。



■ 笹生川ダムでの見学・説明会の様子

■ 会場位置図

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

【開催日】平成24年7月29日(日)

【来場者】九頭竜ダム会場:約250人 長野発電所会場:約280人

【参加機関】大野市／電源開発(株)／北陸電力(株)／関西電力(株)／ダムマニア／九頭竜川ダム統合管理事務所



■九頭竜ダム・長野発電所会場

■九頭竜ダム会場

■長野発電所会場



■九頭竜ダムゲート室・連絡通路見学（九頭竜ダム会場）

■地下発電所見学（長野発電所会場）

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

※赤枠は平成24年度に新規実施



■パネル展示
大野市



■パネル展示
全国のダムマニアカード



■パネル展示
九頭竜川ダム統合管理事務所



■ダムマニア ～ダムの魅力を語る～
プレゼンテーション



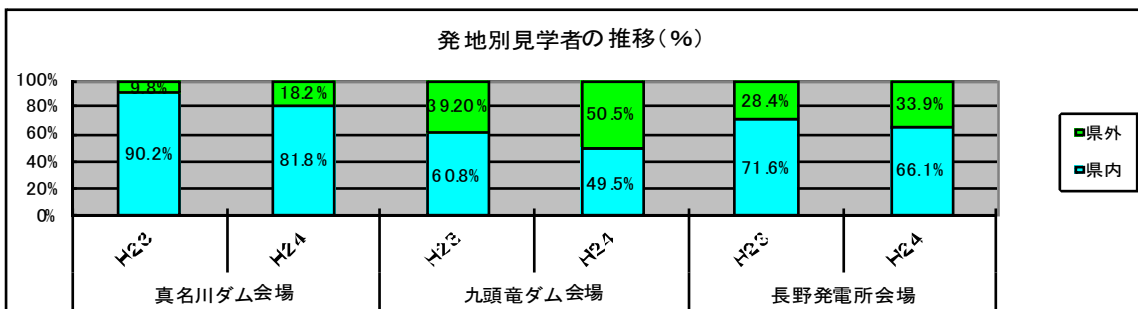
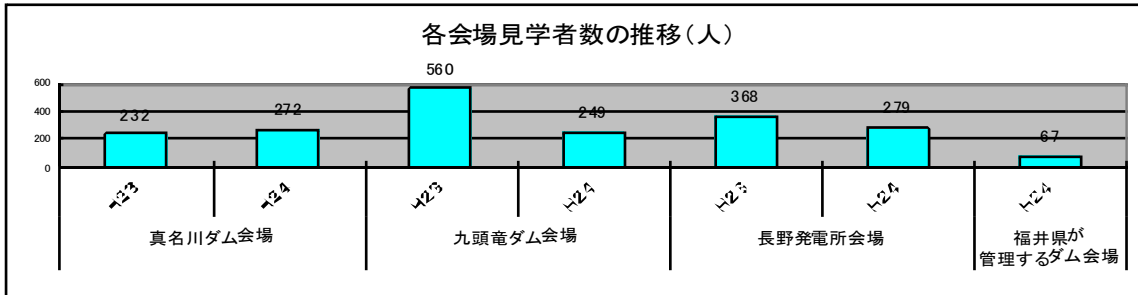
■流木工作教室
地元業者による協力



■流木の配布

アンケート結果

旬間中に各見学会会場でアンケートを実施。



- 真名川ダム会場は、「新聞により見学会を知った」の割合が多く、立地条件もあり県内の見学者の占める割合が多く、通りがかりでの見学者の割合は少ない。
- 九頭竜ダム会場・長野発電所会場は、福井県と岐阜県を結ぶ主街道沿いに位置する事から通りがかりでの見学者の割合が比較的多い結果となっているが、「越前おおの“とんちゃん”祭」の開催日が異なった事、オリンピックの開幕と重なった事が起因するのか、昨年に比べて入場者が減る結果となった。
- なお、各会場とも、「新聞により見学会を知った」の回答が多い事から、これからも新聞広告を含めた様々な広報手段を活用することで、より多くの方々に知っていただけるようにしていきたい。

2.九頭竜新緑まつり・紅葉まつり



概要

大野市内で生産される農林水産物や特産品、旬の味覚などを提供する「食の市場」と体験型・参加型のイベントを実施することにより、文化・工芸の継承を促し、交流人口の増加と地域の活性化を図る事を目的に、毎年、春に新緑まつり、秋に紅葉まつりを開催している。

【主催】大野市/九頭竜まつり実行委員会

【共催】(社)大野市観光協会/福井新聞社

【後援】(社)福井県観光連盟/
JR西日本福井地域鉄道部/
NHK福井放送局/
FBC福井放送/
福井テレビ/
FM福井

【会場】九頭竜国民休養地
(大野市角野)



↑ 第33回紅葉まつりポスター

← 第26回新緑まつりポスター

第26回九頭竜新緑まつり

※赤枠は平成24年度に新規実施

【開催日】平成24年5月19日(土)・20日(日)

【内容】新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナー、化石発掘体験、流木チェーンソーアート、木工教室 など

【入込み人数】約26,300人



■新緑ステージ



■新緑市場



■木工工作教室
(奥越農林総合事務所)



■流木チェーンソーアート
(NPO法人九頭竜自然楽校)



■化石発掘体験



■くらしの情報コーナー



■ダムに関するパネル展
(九頭竜川ダム統合管理事務所) 9

第33回九頭竜紅葉まつり

※赤枠は平成24年度に新規実施

【開催日】平成24年10月27日(土)・28日(日)

【内容】紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、流木作品コーナー、くらしの情報コーナー、トロッコ列車乗車体験、化石発掘体験、越前美濃街道広域観光交流推進協議会PR など

【入込み人数】約58,000人



■紅葉ステージ



■紅葉市場



■木工工作教室
(奥越農林総合事務所)



■流木アート教室
(NPO法人九頭竜自然楽校)



■トッコ列車乗車体験



■越前美濃街道広域観光交流推進協議会



■流木無料配布とパネル展示
(九頭竜川ダム統合管理事務所)



3.第5回もりみずカップ少年サッカー大会

概 要

平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルとして、九頭竜川水系のもたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身ともに健全な発育を図るため、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、技術の向上のみならず、相互の親善を図るため開催。

【開催日】 平成24年7月7日(土)・8日(日)

【会 場】 奥越ふれあい公園陸上競技場

【主 催】 もりみずカップ実行委員会/
フェンテ大野フットボールクラブ

【協 賛】 九頭竜川ダム統合管理事務所/大野市

【後 援】 福井新聞社/越前おおの農林楽舎

参加チーム

- 岐阜県郡上市
白鳥サッカースポーツ少年団
- 坂井市
三国ジュニアサッカークラブ/
春江町サッカースポーツ少年団
- 福井市
森田サッカースポーツ少年団
- 永平寺町
松岡サッカースポーツ少年団/
永平寺サッカースポーツ少年団
(準優勝)
- 勝山市
ヴィフ勝山サッカースポーツ少年団

- 大野市
フェンテ奥越FC(優勝)/フェンテ大野FCスポーツ少年団/
FCおおのスポーツ少年団/有終南サッカースポーツ少年団/
和泉サッカークラブ

記載省略

■平成24年7月10日(火)
福井新聞

4. 『水源地の森づくり』第7回植樹会



概要

森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの意識向上、上下流域の人々の交流と流域連携の促進を目的として、平成18年から毎年行っている。

植樹用の広葉樹の苗木は、NPOドラゴンリバー交流会の会員がドングリから育てたもので、平成24年度はコナラなど300本の植樹を行った。

【開催日】平成24年11月3日(土)

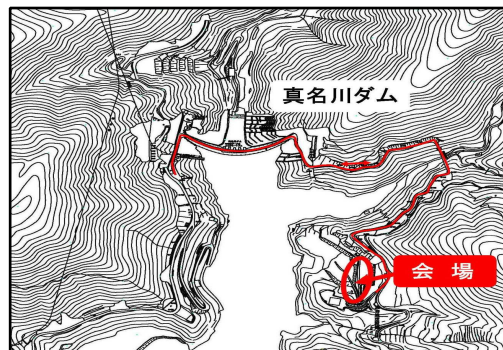
【会場】真名川ダム右岸上流

【主催】真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会

【参加者】NPOドラゴンリバー交流会・大野市・大野市観光協会・大野市教育委員会・大野市区長連合会

・奥越漁業協同組合・近畿中国森林管理局福井森林管理署・九頭竜森林組合・電源開発(株)

・福井県奥越農林総合事務所・北陸電力(株)・(株)前田組・(株)マルツ電波・九頭竜川ダム統合管理事務所など計60名



植樹会の様子

※赤枠は平成24年度に新規実施



■植樹会の様子 開会式



■植樹会の様子



■植樹会の様子



■植樹会の様子

朝日新聞 平成24年11月2日(金)朝刊

記載省略

福井新聞 平成24年11月2日(金)朝刊

記載省略

■掲載された新聞記事等

※植樹会場の土壌改良には、流木から作成したおが粉を堆肥として活用した。

5.越前おおのエコフィールド



概要

※赤枠は平成24年度に新規入会

【活動概要】参加団体・企業や地域の方と一緒に、ドングリなどの苗木を育てる森林（もり）づくり活動や、自然環境教育、自然体験などの取り組みを行う。

【目的】福井営林署跡地(エコフィールド)においてドングリなどの苗木を育成し、森づくり活動に活用することにより、水源涵養、自然災害の抑制、二酸化炭素の削減等、公益的機能を持つ大野市の広大な森林を守り育てる一助にするとともに、緑化活動の啓発、自然環境教育及び自然体験等の環境保全活動を行うことを目的としている。

【管理運営】一般財団法人 越前おおの農林楽舎へ委託

越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等(25団体)

NTT西日本福井支店/九頭竜森林組合/(株)福井新聞社/福井放送(株)/北陸電力(株)福井支店/越前信用金庫/大野鉄工金属協同組合/
 大野市消防団/越前おおの森づくりネットワーク/北陸銀行大野支店/
 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)/(株)タニコーテック/越前大野駅/大野市内郵便局/日本たばこ産業(株)福井営業所/大野商工会議所/
 森永乳業(株)北陸支店福井営業所/J-POWERグループ九頭竜/
 福井銀行大野支店/福邦銀行大野支店/ハニー新鮮館/
九頭竜川ダム統管理事務所/大野市教育委員会/大野市/
 一般財団法人越前おおの農林楽舎



■エコフィールド

【花畑エリア】

【来春に向けた「菜の花」の播種】

開催日：平成24年10月中旬

苗畑エリア

【ドングリの苗づくりイベント】

開催日：平成24年10月8日(月)

参加者：越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約220人

内 容：参加者は3班に分かれて森づくり活動を実施

①ドングリ拾い(親子連れ中心)

②ドングリ苗木の植樹(2年ものの苗木など約170本を平家平に植樹)

③ドングリの種まきと1年ものの苗木の越冬準備



■ドングリ拾い(中島公園)



■ドングリ苗木の植樹(平家平)



■ドングリ種まき(エコフィールド)

6.越前おおの湧水文化再生計画



概要

古くからある湧水の再生や大野市特有の湧水文化を後世へ引き継ぐことを目的とし、国・県・市などの関係機関や団体、市民や企業がそれぞれの役割を担いつつ、総合的な取組みを進めるため、平成23年度に「越前おおの湧水文化再生計画」を策定。計画に基づき、平成24年度に各施策に取り組んでいる。

大野市湧水文化再生推進連絡協議会

各施策の推進状況の報告や協議などを行い、関係機関や団体の連携強化を図る。

・第1回目 平成24年8月28日開催

・第2回目 平成25年2月14日開催

参加機関・団体

岐阜経済大学 森教授／京都大学 角教授／国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統合管理事務所／北陸農政局／福井県安全環境部・農林水産部・土木部・奥越農林総合事務所・奥越土木事務所／区長連合会／地下水対策審議会／真名川土地改良区連合／北陸電力(株)／大野市

水田湛水事業(ふゆみずたんぼ)の拡大

【面積】 28.6ha(H23年 16ha)

【期間】 平成24年10月1日～
平成25年2月28日(5か月間)

【場所】 木本原地区(阿難祖地頭方 他地係)



■水田湛水の風景

地下水の水位観測・啓発など

※赤枠は平成24年度に新規実施

【モニタリング】

地下水位観測 27か所30井戸

湧水量観測 中野清水 湧出量3,500ℓ/分

地下水質検査 6月7日・8日検査 42か所

【啓発】

紅葉まつりなどの各種イベントへの出展

地下水・節水啓発用冊子の作成

越前おおの名水出前講座の開催(小・中学生約300名)

越前おおの環境塾「湧水ウォークラリー」の開催(約30名)

【注意報・警報】

地下水位低下時に地下水注意報・警報を発令

平成24年度は発令なし

【地下水保全基金】

市民などからの寄附金を積み立て、地下水保全対策に活用

平成24年度越前おおのエコフィールド事業に活用



■春日公園観測井表示板



■名水出前講座の風景

湧水(清水)の再生

越前おおの湧水文化再生計画および水のみえるまちづくり計画に基づき、湧水の保全と再生を図る。

義景清水、芹川用水の整備



■芹川用水の風景

7. NPO法人九頭竜自然楽校



活動概要

NPO法人九頭竜自然楽校は、以下の三つのミッションを掲げて活動している。

- ・親子で楽しむ自然体験活動サポート
- ・アクティブシニア層の充実したセカンドライフづくりサポート
- ・地元観光情報の発信と交流促進。

九頭竜新緑・紅葉まつり

九頭竜新緑・紅葉まつりで流木アート教室を開催。



■流木アート教室

カヌー体験講座2012

平成24年度は下記の日程で開催。

- ・前期(5月1日～7月14日の毎土日および祝日)
- ・中期(7月15日～9月30日の毎日)
- ・後期(10月6日～11月24日の毎土日および祝日)

カヌーを使った水辺の安全教室

プールやダム湖でのカヌーを使った水辺の安全教室で指導を実施。

【開催日】

平成24年6月17日(日)、
7月1日(日)・8日(日)・21日
(土)・22日(日)・28日(土)、
8月5日(日)



■カナディアンカヌー操艇

※画像はNPO法人九頭竜自然楽校ホームページより

カヌー体験講座2012 前期



5月1日カヌー聞きを無事行いカヌー体験講座2012前期日程が始まりました。
九頭竜のゴールデンウィークは、まだ桜咲く時期でもあり遠方からの観光客もあつたのでカヌーを覗きも目立っていました。



カヌー体験フィールド開きでは、この冬の豪雪で破損したエントランス周りの修繕や美化清掃活動を行いました。



フィールドの目印となるのぼり旗も立てました。

植樹会 & ドラゴンカヌー体験会

福井県の大野幼稚園、岐阜県の浄心保育園の親子総勢120名ほどが集まり、下半原ふれあい湖畔において、植樹会 & ドラゴンカヌー体験会を開催。

【開催日】平成24年5月26日(土)

5月26日(土)植樹会 & ドラゴンカヌー体験会を行いました



5月26日(土)福井県の大野幼稚園、岐阜県の浄心保育園の親子総勢120名ほどが集まり、植樹会 & ドラゴンカヌー体験会を行いました。



午前中は、JP子どもの森づくり運動の一環で大野幼稚園、浄心保育園の子ども達が広場で拾ったどんぐりを園で3年間ほど育て、ブロック別共用フィールドである、九頭竜湖に植樹しました。



親子で穴をほり、いろんな虫が出てきたりしながら、わいわいきゃっきゃ言いながら、思いどおりに植えました。

※画像はNPO法人九頭竜自然楽校ホームページより

九頭竜湖・紅葉カヌーツーリング2012

全国のカヌー愛好者や自然体験活動団体の九頭竜湖の積極的な活用の促進、子どもたちが「森と湖」の多様な自然と環境を体験する機会の提供を目的として開催。

【開催日】平成24年11月3日(土)

九頭竜湖・紅葉カヌーツーリング2012

昨年に続き今年も晴れの特異日11月3日文化の日に「九頭竜湖・紅葉カヌーツーリング2012」を開催しました。



今回は、九頭竜自然楽校の前身 自然暮らしの会「収穫祭」を兼ねた開催であったこともあり10月12日に配信された「自然暮らし通信最終号」を見て来られた参加者の姿が目立ちました。



出艇前30フィートのドラゴンカヌーをバックに記念撮影。



向かい風が強く漕ぎ出しはたいへんですが頑張って荷春川を目指します。

8.真名川水辺の楽校 Bioフレンズ



概要

子供たちや地域住民が川とふれあい親しむことのできる親水活動の場、自然体験・自然学習の場、また多種多様な動植物が生息生育できる水辺空間の保全と創出を図るとともに、持続的かつ有効に活用して、利用方法、維持管理、モニタリング調査を継続的に行い、目標とする生態系を目指している。

【場 所】大野市南新在家の河川敷
【管理運営】真名川水辺の楽校 Bioフレンズ

【平成24年度 Bioフレンズの活動内容】

活動項目	実施日	活動内容	備考	会員人数
普及・啓発活動	7月29日	大野カトリックスクール (OAFJ協会主催) 受け入れ	小人7名 大人4名	2名
	8月18日	集まれ!「かわら塾」 (大野市主催)	小人20名 大人6	4名
	10月4日	有終東小学校 総合的な学習の時間	小人70名 大人3	1名
	12月3日	有終東小学校 総合的な学習の時間出張	小人70名 大人3	1名
	各体験前日	現地下見と危険・注意個所の抽出・図化	体験日に情報共有化	延べ3名
	6月26日	あずまやの展示内容更新		1名
維持管理活動	4月9日 12月17日	あずまやの雪囲いはずし及び雪囲い作業		延べ4名
	5月24日、6月15・21日、7月21日、8月10・11日、10月3日、11月1・5日	草刈・清掃作業	草刈頻度はあずまや 4回 堤防 2回 施設内 1-2回	延べ18名
	8月11日	倉庫内整理・備品チェック		1名
モニタリング調査	5月16日、6月15日、7月4日	陸上昆虫調査	ネットィング スウィーピング	延べ4名
	夏季・冬季	鳥類調査	ルートセンサス	延べ4名
	12月21日	水生生物調査	定性調査のみ	1名

真名川水辺の楽校施設平面図



※画像はパンフレット2009年度版より

普及・啓発活動



■総合的な学習の時間の
受け入れ
(有終東小学校)



■オアシス協会カントリースクール受け入れ



■集まれ！「かわら塾」2012

維持管理作業



■あずまやの清掃



■堤防の草刈り



■施設内の整備（倒木処理）

モニタリング作業



■陸上昆虫モニタリング調査



■水生生物モニタリング調査

9.真名川ダム弾力的運用管理



概要

真名川ダム弾力的管理として、洪水調節容量の一部に貯留した容量を活用して、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指して放流試験を平成15年度より実施している。

実施に際しては、「真名川ダム弾力的管理検討委員会」に諮り、ご意見・ご指導をいただいている。

これまでの実施状況と今後の予定

		実施時期	実施日	ダム放流量のピーク流量	置土			自然再生試験
					置土量	材料	場所	
試験	これまでの実績	夏期	H15.9.30	25m ³ /s	—			—
		秋期	H16.11.15	45m ³ /s	約220m ³	貯水池上流の堆積土	八千代橋上流 約0.5km(左岸)	—
		夏期	H17.8.2	25m ³ /s	—			—
		秋期	H17.12.8	40m ³ /s	約200m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流約0.6km(左岸)	—
		秋期	H18.11.15	45m ³ /s	約200m ³	貯水池上流の堆積土	君ヶ代橋上流 約0.8km(左岸)	—
		秋期	H19.11.8	45m ³ /s	約330m ³ +約 650m ³	貯水池上流の堆積土 +河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	新水路の創出
		秋期	H20.11.18	45m ³ /s	約100m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	旧河道の再生
		春期	H22.4.14	70m ³ /s	約140m ³	河川敷の掘削土	八千代橋上流 約1.5km(左岸)	ワンド(緩流域)の創造
	自然出水再現放流	春期	H23.4下旬~ H23.5	136m ³ /s	約280m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	エコトーンの創造
		秋季	H23.9.21	365m ³ /s(自然出水)	—			—
		春期	H24.4	50m ³ /sにカットして放流	約360m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
		秋季	H24.9.18	230m ³ /s(自然出水)	—			—
		春季	H25.4	未定	約320m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし +陸域部への導水
		春季	H26.4	未定				
運用	融雪期	自然出水再現放流	本格運用へ移行					

平成
24年度

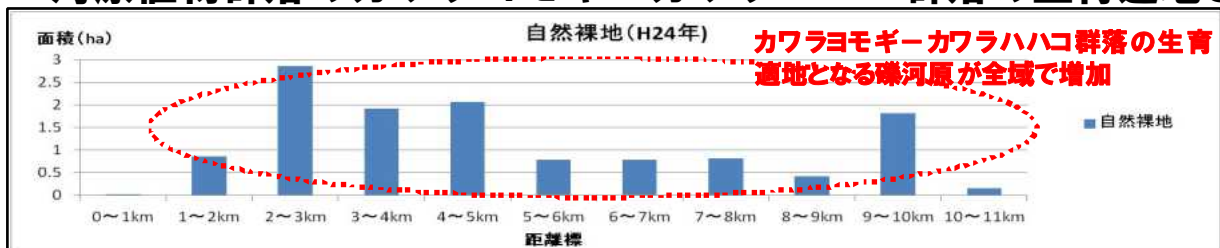
平成
25年度

平成24年度の実施結果

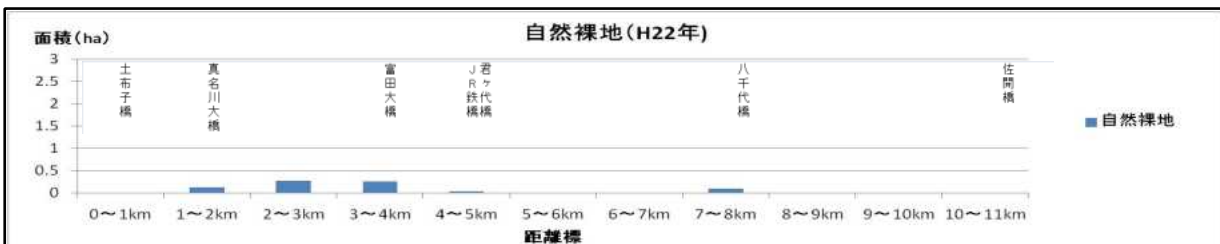
平成23年9月の台風15号による365m³/sの放流により、真名川は大きく改変されました。

【礫河原・砂州、河原性植物の増加】

・河原植物群落のカワラヨモギーカワラハハコ群落の生育適地となる礫河原が全域で増加した。

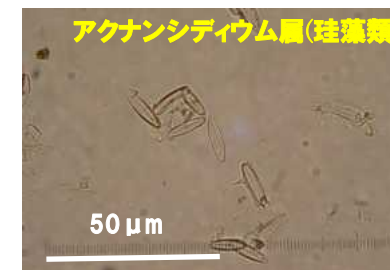
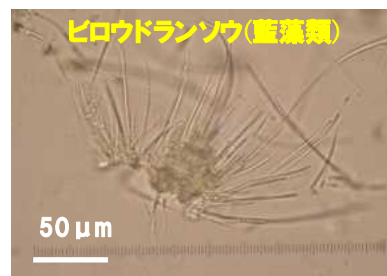
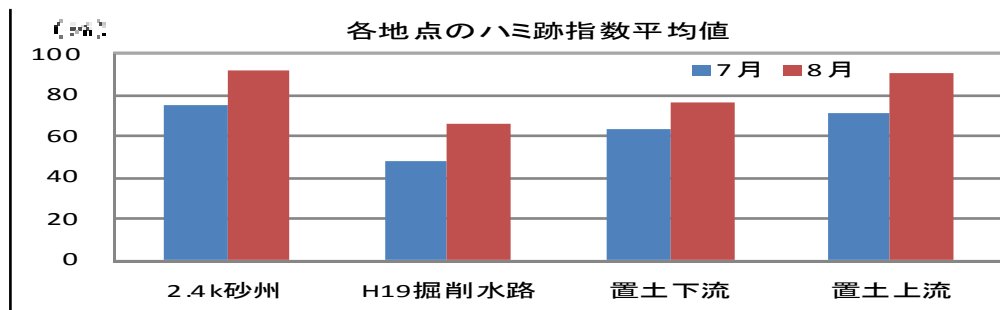


カワラハハコ群落（平成24年10月撮影）



【アユの餌となる付着藻類の剥離・更新】

・アユが付着藻類を食べたハミ跡は、4カ所いずれの地点でも数多く見られた。また、付着藻類調査でアユの餌となる藻類（藍藻類、珪藻類）が優占していたこと、水域調査で瀬の面積が増加したことから、アユの餌場が増加したと推測される。



優占している付着藻類

※ハミ跡指数=ハミ跡が1つでもあったセルの数/セル100個×100%
 図中の指数は、各地点5箇所分のハミ跡の平均指数を示している。

10.ダム湖の自然環境保全の取り組み



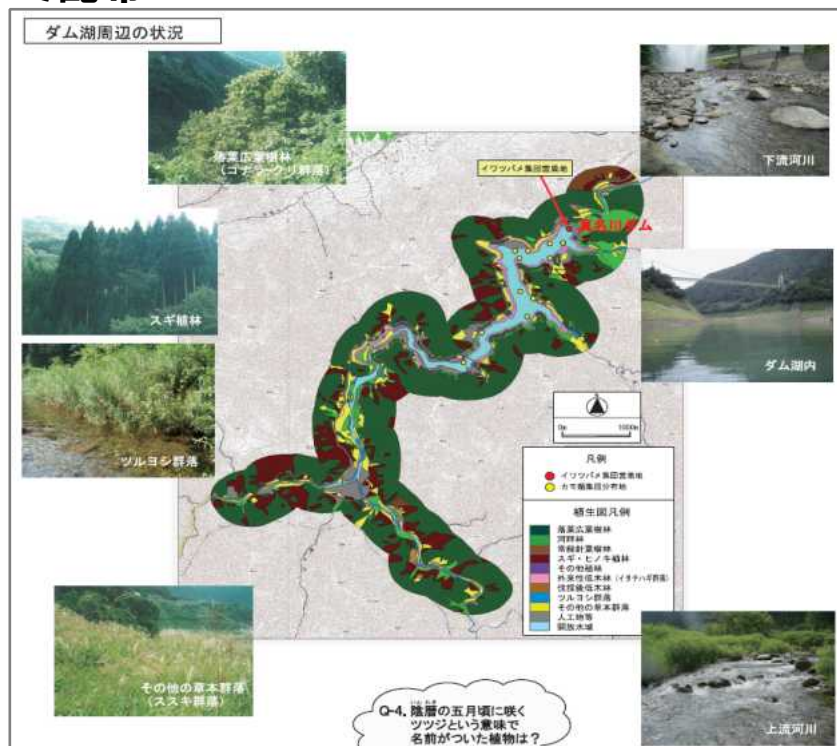
真名川ダム・九頭竜ダムの環境マップ配布

【概要】 ダム湖周辺の自然環境をより楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境を分りやすく紹介したポケットサイズのマップを、平成21年4月にダム湖別に作成し、真名川ダム、九頭竜ダムのそれぞれの管理支所で配布している。

【概観】 サイズ:縦10cm×横20cm／屏風折 全12ページで構成

【配布状況】 ダム見学に来られた方及び森と湖に親しむ旬間行事ダム見学会、九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで配布

【掲載例】



■真名川ダム環境マップのマップ面

■九頭竜ダム環境マップの底生動物、魚類のページ例

九頭竜ダム湖の外来生物対策

【カワウ対策】

カワウによる鮎等放流魚の食害に苦しむ奥越漁業組合の要請と「大野市鳥獣被害防止計画」に基づき、平成24年6月5日および6月9日に福井県猟友会和泉支部が、九頭竜ダム湖河畔に営巣するカワウに対し銃器による「個体数調整」を実施し、2回で合計172羽を捕獲した。

なお、卵と雛は捕獲の対象外とした。



カワウの糞の影響による樹木の枯死が発生

【コクチバス対策】

平成19年度に「河川水辺の国勢調査」の一環として魚類調査を行った際、九頭竜ダム湖内で特定外来種のコクチバス2個体を捕獲確認。コクチバスは繁殖能力が高く、駆除せずに放置した場合、ダム湖の在来魚種等に大きな影響を与える恐れがあると考えられるため、平成21年度より調査及び駆除を実施。

平成24年度は、福井県、奥越漁業協同組合と連携し、6～7月に3回、9月に1回、12月に1回の合計5回の調査および駆除を実施した。

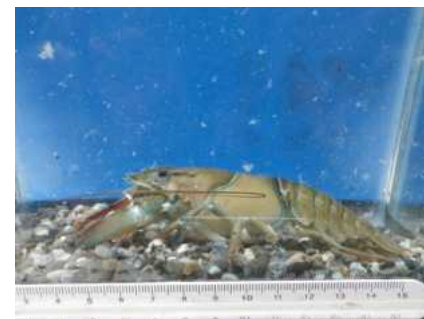


コクチバス調査・捕獲の実施状況
(平成23年度)

【ウチダザリガニ対策】

平成23年6月21日に、福井県、奥越漁業協同組合と連携しコクチバス共同駆除を実施した際、刺し網にウチダザリガニの生体を確認した。

平成24年度は、福井大学 保科英人准教授によりウチダザリガニの調査が実施されている。



調査中に確認されたウチダザリガニ

11.流木の有効活用



概要

【流木対策】 ゲート操作などの支障とならないようにダム湖に流れ込んできた流木を回収

【有効利用】 一般の方への流木や流木から作ったチップや堆肥・おが粉の配布

(九頭竜新緑・紅葉まつり、森と湖に親しむ旬間行事、事務所HPでの配布告知など)

流木工作教室などの開催、流木の艺术的利用の紹介

おが粉の活用:ねかせたおが粉を「水源地の森づくり」植樹会で堆肥として使用

チップの活用:防草用のマルチング材等として使用を予定



■流木の配布
(九頭竜紅葉まつり、真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会)

■堆肥・おが粉の配布
(真名川ダム見学会)



■流木チェーンソーアート
(九頭竜新緑まつり)



■流木工作教室
(真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会)



■流木処理
(チップ化)

平成24年度はホームページで流木、チップ材の無料配布の告知を実施した。

『流木』、『チップ材』を無料でさしあげます。

真名川ダム九頭竜ダムで回収した『流木』や、流木から作った『チップ材』を、希望者に無料で配布しています。

【配布にあたっての条件】

1. 『流木』、『チップ材』の在庫数量及び保管場所をご確認の上、申し込み下さい。
引き渡しは、保管場所にお越しいただき、自ら持ち出し・運搬のできる方に限らせていただきます。
2. 『流木』、『チップ材』の申し込みには、期間を設けております。
引き渡し日時については、申し込み期限後10日以内に担当者から連絡させていただきます。
また、申し込み総量が在庫総量を超える場合は、申し込みいただいた数量よりも配布数量が少なくなる場合があります。
〔数本程度の流木』を希望される場合は、九頭竜ダム管理支所に保管しているものを持ち帰っていただくことも可能です。この場合は、申し込みの必要はありません〕
3. 配布する『流木』、『チップ材』には、「漆」の木も含まれている場合があります。
利用される方の体質によっては、アレルギー反応で皮膚に炎症を起こすおそれがあります。
4. 配布する『流木』は無加工のため、とがったものや、割れたり開けたりしているものがあります。
取り扱いによってはけがをすることおそれがあります。
5. 配布した『流木』、『チップ材』によって発生した事故・被害等については、当方では一切の責任を負いませんのでご了承ください。

【申し込み期限】

第1回 平成24年10月31日 17時
第2回 平成24年11月30日 17時
(冬季は保管場所に積雪が多く危険なため、配布を行いません)

【申し込み方法】

配布を希望される方は、「申込書」に必要事項を記入のうえ、電子メール、FAX又は持参で申し込み下さい。

【申し込み窓口】

国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所
管理課 管理係 『流木配布担当』
〒912-0021
福井県大野市中野29-28
電話番号：0779-66-5300
FAX番号：0779-66-5304
メールアドレス：info-kuzuryu@kkr.mlit.go.jp

■流木、チップ材の配布告知
(九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページ)

12.ダム湖周辺の紅葉情報提供

概要

真名川ダム(麻那姫湖)、九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真に撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供するもので、昨年を引き続いて実施。

【期間】平成24年10月22日(水)～11月28日(水)

【URL】九頭竜川ダム統合管理事務所

<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu>

真名川ダム(麻那姫湖)周辺

真名川ダム周辺の紅葉情報 2012

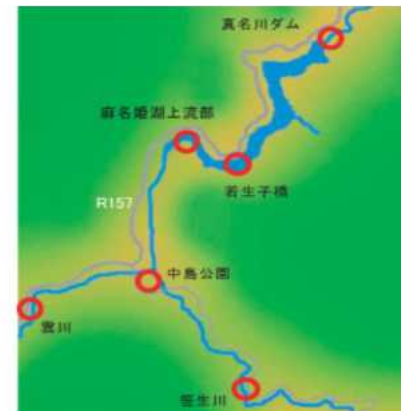
真名川ダム周辺の紅葉情報(2012年度版)をお届けいたします。

平成24年11月26日現在

真名川ダムの上流部山頂では積雪が見られる様になりました。
 真名川ダム周辺では紅葉の時期がほぼ終わったと思われます。
 今回は小雨、霧が出る中で撮影しているため、見づらい写真が一部にあります。
 シーズンの情報提供は、この更新を持ちまして終了させていただきます。

現在、真名川ダムでは様々な工事が行われているため、お立ち寄りの際には安全には十分、ご注意ください。

真名川ダム周辺(下流部)



真名川ダム周辺の紅葉情報(2012年度版)をお届けいたします。

調査地点	調査日					
	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日
真名川ダム周辺	青葉	一部紅葉	見頃	一部紅葉	一部紅葉	全落葉
麻那姫湖中流部(若生子大橋)	青葉	一部紅葉	見頃	一部紅葉	一部紅葉	全落葉
麻那姫湖上流部	青葉	一部紅葉	見頃	一部紅葉	一部紅葉	全落葉
中島公園周辺	青葉	一部紅葉	見頃	一部紅葉	一部紅葉	全落葉
雲川・笹生川	青葉	一部紅葉	見頃	一部紅葉	一部紅葉	全落葉

色	色の説明
青	青葉
黄	一部紅葉
赤	見頃
緑	一部落葉
白	全落葉

備考: 調査日をクリックしますと詳細ページを表示します

九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺



九頭竜ダム周辺の紅葉情報(2012年度版)をお届けいたします。

平成24年11月26日現在

ここ最近、九頭竜ダム周辺は晴れ間も少なく、定期撮影日(26日)現在は、小雨で曇りの中と言った状態です。水漏漏的風情を感じさせますが、山そのものを撮影することが困難なため、写真の更新は断念しました。山は、黄色く紅葉している状態ではありますが、平色へと徐々に変化し、見頃のピークは既に通過したと言える状態です。それでも青空が広がり、太陽に照らされるなら、まだまだ見応えはあるかと思えますが、天気予報は雨脚は曇りがちのようです。国道158号線やダムサイト周辺では工事が行われています。お越しの際は安全にお気を付け下さい。今シーズンの情報提供は、この更新をもちまして終了させていただきます。

ダム全景(ダム下流側国道沿い展望台より撮影)



ダムサイト(影路船庫への市道より撮影)



九頭竜ダム周辺の紅葉情報(2012年度版)をお届けいたします。

調査地点	調査日						色	色の説明
	10月19日	10月30日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日		
九頭竜ダム周辺	一部紅葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
九頭竜湖左岸	一部紅葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
箱ヶ瀬橋付近	一部紅葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
九頭竜湖上流部	一部紅葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃

■掲載された新聞記事等



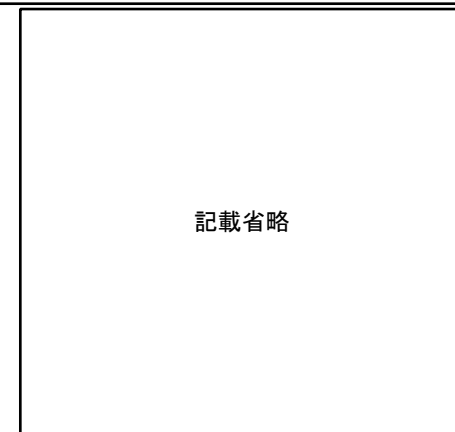
記載省略

福井新聞 朝刊
平成24年10月24日(水)



記載省略

日刊県民福井新聞 朝刊
平成24年10月31日(水)



記載省略

中日新聞 朝刊
平成24年11月1日(木)

13.ダムカードの配布とダムマニアとの連携

ダムカードの配布

ダムのことをより知っていただくため、全国の国土交通省や水資源機構などが管理しているダムで、統一規格のカードを配布している。

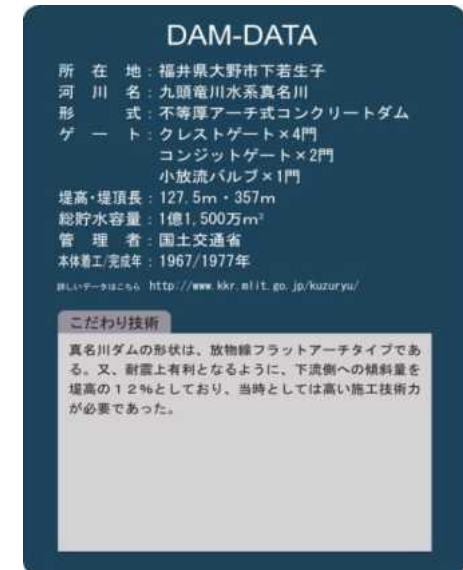
- 平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」より、全国111のダムで配布開始
- ダムや周辺施設のみで配布
- 全国统一規格(カードの大きさ、掲載項目など)で基本的な情報からマニアックな情報まで掲載 (サイズ:縦6.3cm×横8.8cm)
- 九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて配布案内



■ダムカード表面 (真名川ダム)



■ダムカード表面 (九頭竜ダム)



■ダムカード裏面 (真名川ダム)

【真名川ダム・九頭竜ダムでの配布状況】

(※：平成24年1月～平成24年12月末現在)

	真名川ダム	九頭竜ダム
配布場所	真名川ダム管理支所	九頭竜ダム管理支所
配布時間	9:00～17:00(土・日・祝日含む)	9:00～17:00(土・日・祝日含む)
配布枚数	916枚(※) 累計:6,024枚	2,479枚(※) 累計:9,763枚

【ダムマニアとは】

- ダムが好きで、各地のダムを見て歩いたり、知識や写真等を収集する事を趣味とする人々
- インターネットやイベントを通じて交流
- 近年、メディアでも話題になっている

【ダムマニアとの連携】

- 「森と湖に親しむ旬間」行事のダム見学会(平成24年7月)で、「ダムマニア」の方により、ダムマニアから見た「総合治水」「色々な発電比較」「揚水発電とは」と題して、プレゼンテーションを開催
- ダムマニアの方々が作成したオリジナルの「ダムマニアカード」を展示(九頭竜ダム会場)

(九頭竜ダム会場)



(真名川ダム会場)

- ダムマニアの方によるプレゼンテーション
(森と湖に親しむ旬間のダム見学会会場)



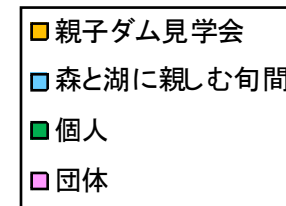
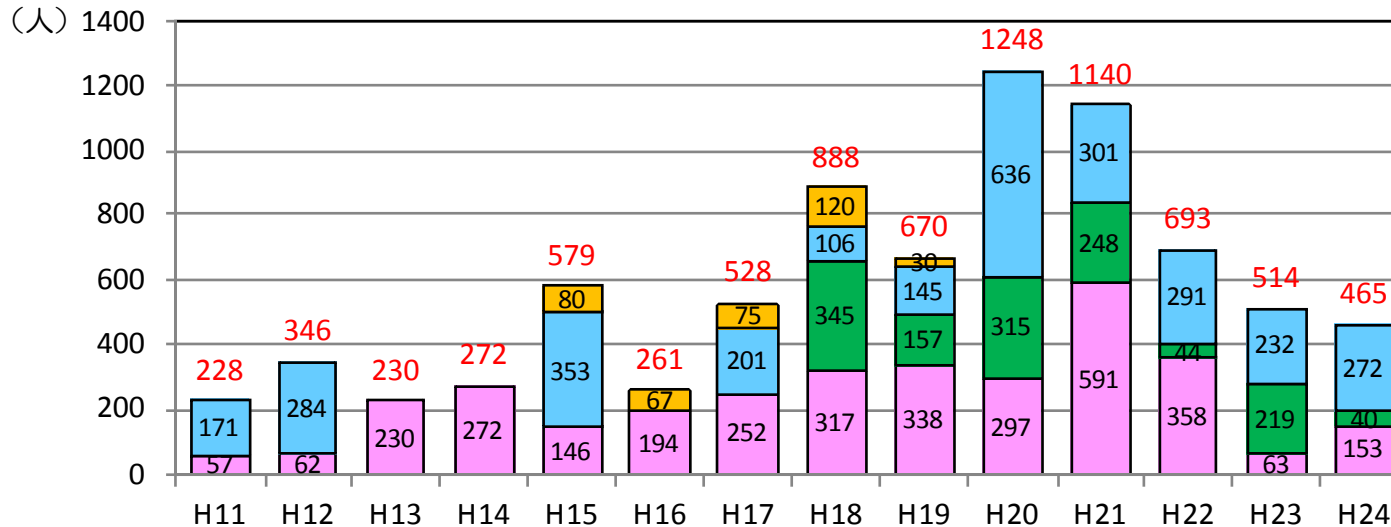
- ダムマニアの方々が作成したオリジナルの「ダムマニアカード」
(森と湖に親しむ旬間の九頭竜ダム会場)

14.真名川ダムของダム内部見学

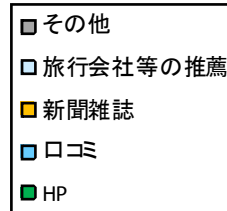
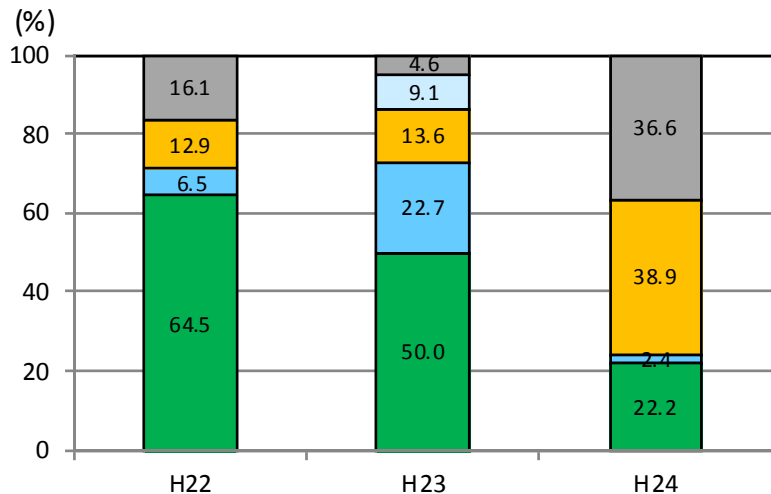
概要

ダム管理支所職員による真名川ダムの堤体内および周辺の見学・案内を実施している。
 見学申込の予約受付は、九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて随時行っている。

【見学者数】 平成24年度 465名(暫定数)



※ H17年度以前の「団体」の人数は、「個人」+「団体」を示す

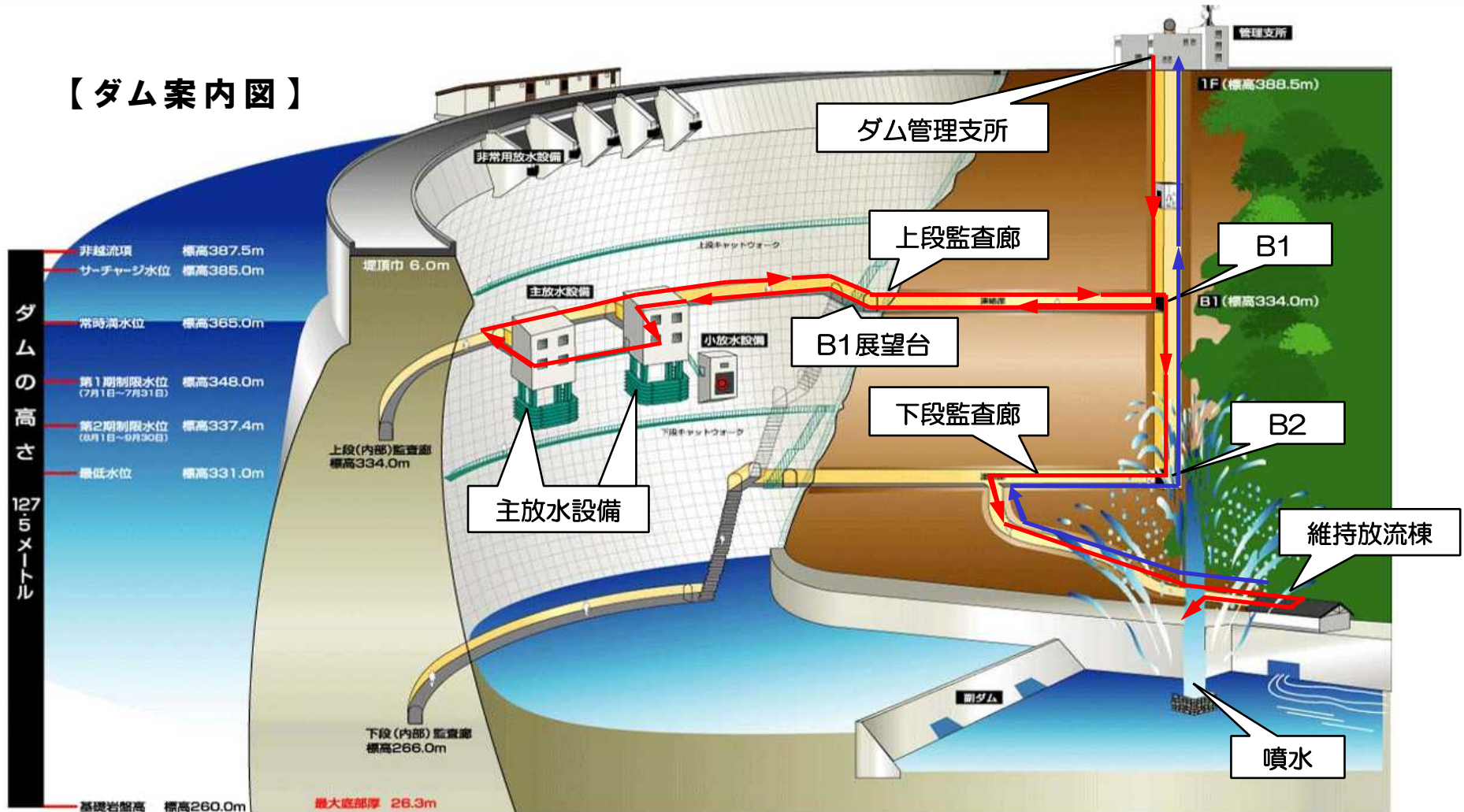


- 「見学者数の推移」では見学者数は、平成20年度をピークに減少傾向にあり、特に団体の見学が減少している。
- 「見学のきっかけ」では、これまでホームページの割合が高い傾向にあったが、平成24年度は新聞雑誌による比率が高い結果となっている。

「見学のきっかけ」内訳の推移

見学コース

【ダム案内図】



コース	見学ルート	時間	見学場所
Aコース	ダム管理支所 → B1 → B2	60分	上段監査廊、主放水設備、維持放流棟、噴水前
Bコース	ダム管理支所 → B2	30分	維持放流棟、噴水前

15.九頭竜ダム展示室



概要

平成19年4月より、ダムの役割や状況など、ダムに関する展示を行っている。

【場 所】 九頭竜ダム堤体右岸ダムサイトの
九頭竜ダム管理支所 1F

【開館時間】 9:30～16:30
(平日・休日を問わず開館)

【九頭竜ダム展示室 入場者数】

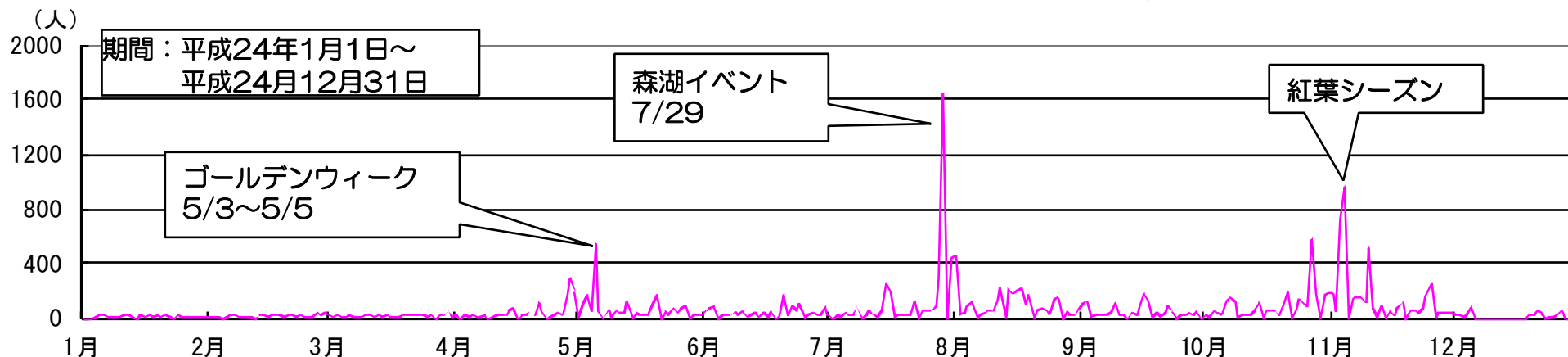
- 集計期間：平成24年1月～12月(366日)
- 入場者数：延べ22, 251人
- 月平均：1, 854人 ■ 日平均：61人

【九頭竜ダム展示室 日別入場者数】

■ 年間の入場者数の推移をみると、12月～3月の冬季の入場者数は少なく、4月後半から11月までが主に利用される期間となっている。特に5月のゴールデンウィーク、夏休み中のイベント、秋の紅葉シーズンの入場者が多い傾向である。



■ 展示室位置図



展示内容

- 九頭竜ダム：九頭竜ダム貯水池の航空写真と九頭竜湖についてのパネルを展示
- 地域情報：九頭竜ダムがある大野市を紹介するパネルを展示
- 災害情報：福井豪雨などでの被害状況の写真等を展示
- 九頭竜ダムでの発電：九頭竜ダムと九頭竜川水系で行われている発電について展示
- 日本全国のダム写真カード：ダムマニアの方々が作成し提供していただいた、日本全国のダムマニアカードを展示
- ビデオ上映：九頭竜ダムを建設した様子についてのビデオ(約25分)を上映
- 流木アート：九頭竜ダムに流れてきた流木を用いて作られた流木による様々なアートを展示



■ 展示室入り口



■ 九頭竜ダムコーナー



■ 地域情報コーナー



■ 災害情報コーナー



■ 発電についての展示



■ ダム写真カードコーナー



■ ビデオ上映



■ 流木アートコーナー

16. ノーム自然環境教育事務所(奥越前まんまるサイト)



活動の目的

奥越地域の自然・産業資源を媒介して、次世代の地域を担う人材育成を目的としている。
四季を通して地域の人材・農林業・暮らしや文化を活かした参加体験型エコ・グリーンツーリズムを進めることで、訪れる方々を対象に地域の素晴らしさを体感していただいている。

継続事業～水辺編～

水辺の活動(場所:九頭竜新緑まつり会場)

■ 水辺の活動の楽しさを理解していただくためのカヌー体験を天候の安定している春や秋に実施。



- ・事前レクチャー
- ・パドルの使用方法
- ・正しいライフジャケットの装着
- ・河川でのコミュニケーション
- ・落水時の対処方法

川の安全基礎講座(石川、福井にて毎年1回)

■ 川の事故を防ぐべく川の構造、水流や水圧、レスキュー方法等について基本的な安全講座をテーマに開催。



- ・ライフジャケットを装着しての川流れ
- ・川の流れを読み解く
- ・中州での救助方法
- ・スローロープでの救助方法
- ・危険予知トレーニング

親子体験(幼児～小学生やスポ少団体:下打波)

■ 近づけなくなった川での体験活動。真夏の日の水の冷たさや心地よさを親子で体験。



- ・森と川のつながりを湧水で理解
- ・伏流水の不思議
- ・共生(サンショウウオ)の理解
- ・川の生き物探検
- ・ライフジャケットを装着しての川流れ
- ・溪流下りや登り
- ・民家でのカマド炊きやお風呂沸かし
- ・親子でのコミュニケーション

地域連携

■ 今年から地域団体と協働でお米づくりとともに、地域の自然や人との関わり・体験をテーマに進めた。



- ・田植え～稲刈り～販売の体験
- ・赤トンボのマーキング調査
- ・野菜定植と収穫
- ・地場産食材での料理体験
- ・地域内での自然体験活動
- ・親子でのコミュニケーション

学校や児童クラブにおける河川活動の支援

■ 児童期には川遊びを推進しよう！を合言葉に、川の体験から多様な価値観や故郷を心身に残すべく個人や団体を支援している。



- ・古民家での暮らし体験
- ・清流での川遊び
- ・森と川の生き物探し
- ・サンショウウオの生息環境の分析
- ・川床をつたってのアジメドジョウ探し
- ・JRを利用したの川遊びツアー

大人の休日シリーズ(下打波、六呂師)

■ 豊かな自然との関わりが薄い若者世代を対象に、森／川／海／盆地等季節のフィールドを利用して実施しているOne Dayツアー。



- ・沢登りや飛び込み等の川遊び
- ・川でのシュノーケリング
- ・自転車を利用して地域資源を訪ねるポタリングツアー
- ・ヨガや整体で心身を整える
- ・古民家暮らしの体験
- ・大人のためのドラム缶風呂

その他の活動～森編

ハックルベリーの森

- 自分たちの暮らす地域において「生命のつながり」をテーマに四季を通しての体験活動を支援している。「故郷(くに)」を心と身体で体験し刻むことができることを願っている。



- ・親子で過ごす森の時間～五感を使う～
- ・ピザやバームクーヘン等の野外料理体験
- ・四季を通しての森林環境教育
- ・樹登りやツル登り
- ・森の野生動物と人の暮らしのつながり探し
- ・幼稚園／保育園の自然体験活動の支援
- ・林床整備等の簡易な森林整備体験
- ・野生動物のための生息地づくり

来年度に向けて

- ・夏休みJRを利用したり、お盆帰省客を対象に日帰り川遊びツアーを実施する。
- ・教育団体(小学校やスポ少)へ川の体験活動をPRする。
- ・川の安全講座を奥越地域内で実施したい。
- ・川遊び拠点の整備
- ・近隣宿泊施設／旅行会社との関係～体験活動の提案～

17.大野市森・水保全条例の制定



目的など

※平成24年度に新規実施

水源地域の保全に関し、市、市民、土地所有者、施設設置者の責務を明らかにするとともに、水源地域内の土地の所有権の移転等および工作物の設置について必要な事項を定めることにより、水源地域の機能の維持に寄与することを目的として大野市森・水保全条例を9月に制定、平成25年4月1日から施行。

【対象となる地域】

市全域において、登記地目または現況地目が山林または保安林となる地域を水源地域として指定。

事前届出制

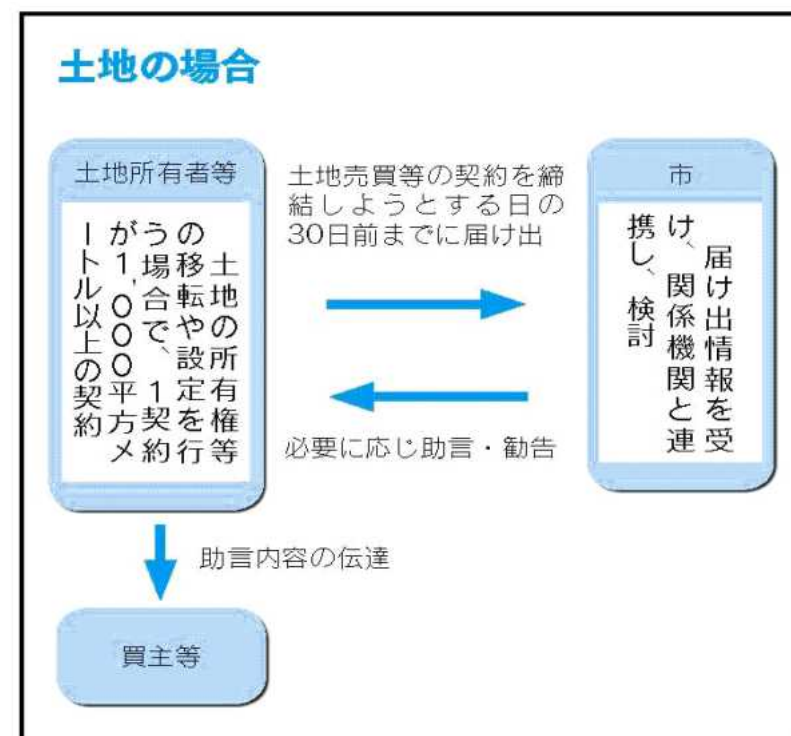
【土地売買等の契約】

土地所有者等は、土地売買等の契約を締結しようとする日の30日前までに、契約締結後の土地の権利等を取得する予定の者の氏名、住所および土地の利用目的等について市長への届出が必要。

※1契約が1,000㎡以上のものを対象



■平家平のブナ林



■事前届出制のイメージ図（土地）

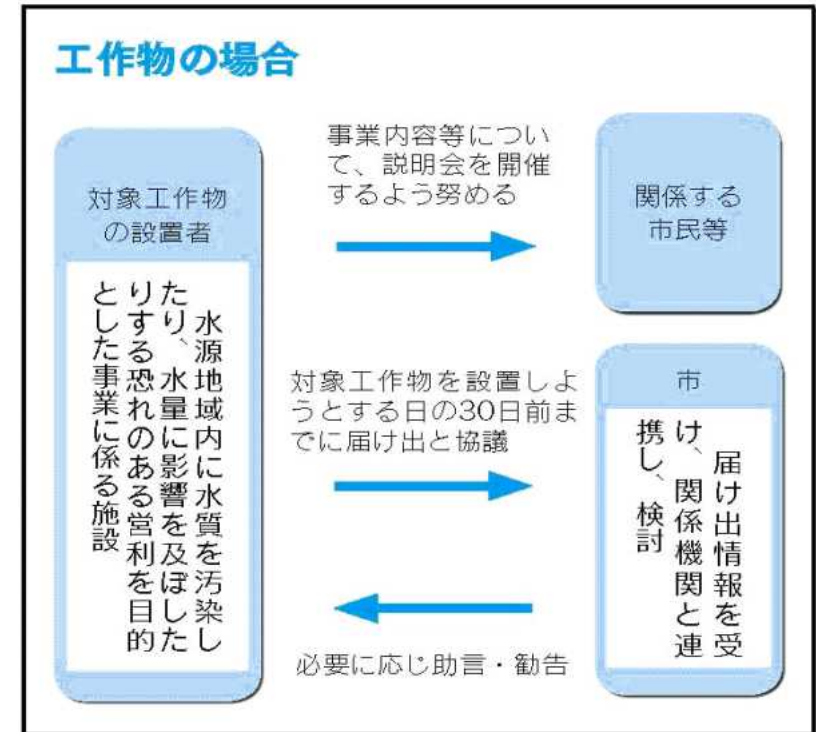
【工作物の設置】

工作物を設置しようとするときは、着工しようとする日の30日前までに工作物を設置する者の氏名・住所および事業計画、内容等について市長へ届出を行うとともに、協議が必要。

○水質を汚染するまたは水量に影響を及ぼすおそれのある営利を目的とした事業に係る施設が対象

※一般廃棄物処理業、産業廃棄物処理業、砂利採取業および砕石業、鉱業、ゴルフ場業などの事業。

また、これらに該当する事業の場合、事業内容並びに水質または水量への影響およびその防止策について、関係する市民等に対し、説明会の開催に努めるものとする。



■事前届出制のイメージ図（工作物）

助言・勧告

【助言】

市長は届出者に対し、周辺の水源地域の保全などを図るために必要な助言を行います。届出者は助言の内容を新たな土地所有者等に伝達しなければいけません。

【勧告】

市長は、届出をしない者または虚偽の届出をした者に対し、届出をすべきことまたはその届出の内容を是正すべきことについて勧告を行います。勧告を受けた者が勧告に従わない場合は、当該勧告の内容および氏名等を公表する場合があります。

18.カヌーを使った水辺の安全教室



概要

B & G財団のカヌーなどの無償貸与制度を活用して、市内の小学4～6年生を対象にプールやダム湖でカヌーを使った水辺の安全教室を行う。

【実施日】

平成24年6月17日(日)、7月1日(日)・8日(日)
・21日(土)・22日(日)・28日(土)、8月5日(日)

【会場】

九頭竜湖(下半原)・B & G海洋センタープール

【主催】

大野市教育委員会

【内容】

着衣泳、カヤック・カナディアンカヌーの操艇など

【参加者】

延べ75人

【指導】

福井県カヌー協会、NPO法人九頭竜自然楽校



■着衣泳



■プールでの操艇



■ダム湖での操艇



■化石採取体験



■カナディアンカヌー操艇



■カヌーポロ体験

19.越前おおのブランド戦略の策定

概要

※平成24年度に新規実施

魅力ある大野市となるためには、『人・歴史・文化・伝統・自然環境・食』などの分野における素材すべてを越前おおのブランドとして磨き上げながら市全体のイメージを創り上げていく必要があります。

そのイメージなどを市内外へ効果的に情報発信することで持続的な地域経済の活性化につなげると同時に市民の地域に対する自信と誇りの醸成につなげ、越前おおの全体の価値を高めることを目的に「越前おおのブランド戦略」を平成24年度に策定します。

取り組み状況など

平成24年5月

越前おおのブランド戦略策定委員会を設置
(11月までに5回開催)

平成24年6月～7月

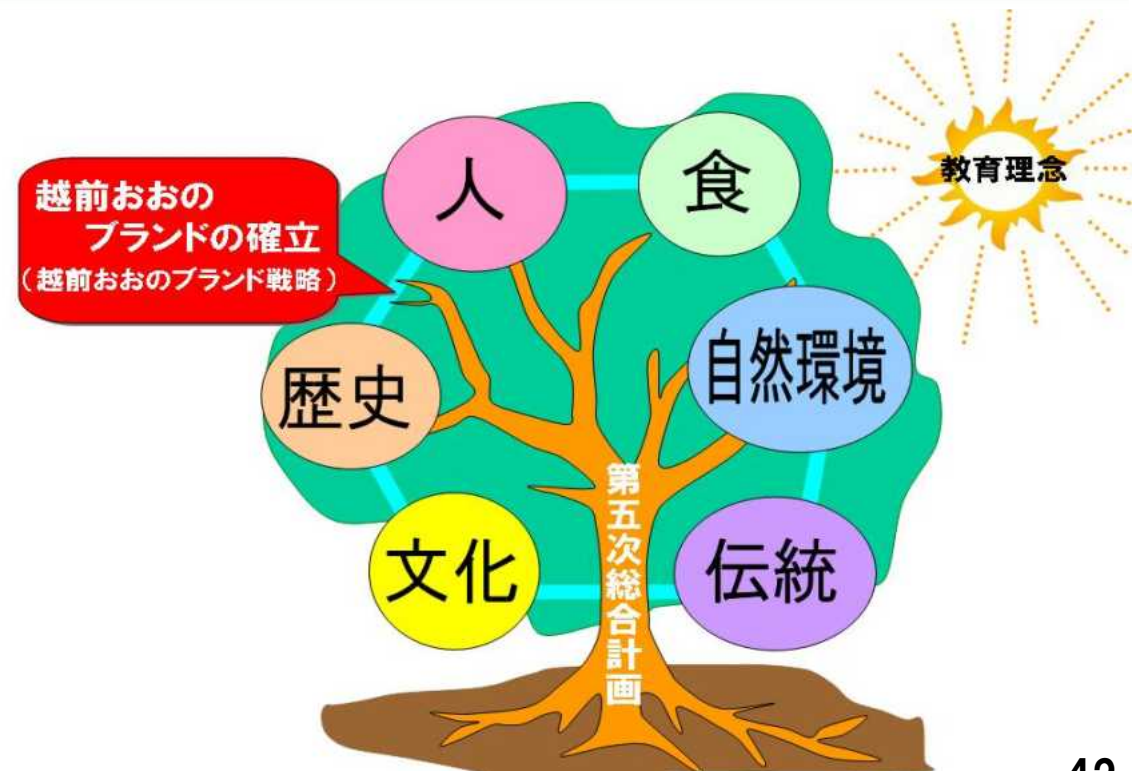
- ・市民や事業所、都市圏等にアンケート調査
- ・市内観光地で来訪者に対して聞き取り調査
- ・先進地視察の実施

平成24年9月

- ・ブランドキャッチコピー
「結の故郷 越前おおの」を決定
- ・特許庁に「結の故郷」を商標登録提出

平成25年2月末

ブランド戦略策定予定



ゆい く に
結の故郷

「結」という言葉には、昔の村の生活において、田植えや稲刈りなどの農作業や冠婚葬祭などのいろいろな仕事をお互いに助け合う習慣の意味があります。

以上の意味の他に、本ブランド戦略では、越前と美濃を結ぶ街道の役割や幕末の時代に大野藩の財政危機を救うために、越前おおのと全国各地を結んだ大野屋の実績など、これまでの歴史において越前おおのが地域と地域を結ぶ役割を築いてきことや、現代においては、「広域観光の展開」や「中部縦貫自動車道の整備による日本海側と太平洋側の産業や経済の循環」などの各地域の活性化に結びつく役割を担っていく意味も込めています。

このように、生活や地域が結びつきながら、ゆっくりと営んできた越前おおのを、結が詰まった一つの故郷(くに)として表現し、このキャッチコピーを決定しています。

平成25年度の活動について

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンについて

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンでは、『森林』、『水』、『交流』の3つの柱のもとに、水源地域活性化のための様々な活動が実施されている。

〔基本理念:真名川ダム〕

「奥越の山々に抱かれた名水のまち
大野の水のランドデザインを目指して」

〔基本理念:九頭竜ダム〕

「美しい水・森・心と出会ういやしの里づくり」

〔ビジョンの施策〕

<森林>

- 森林の保全・育成
- 森林資源の活用

- ◆水源林の保全
- ◆林業ボランティア
- ◆雑木林（里山）の活用
- ◆木工・ログハウス工房づくり
- ◆自然体験の拠点づくり

※紺色字は平成24年度の活動

<水>

- 健全な水環境整備
- 水環境の啓発
- 利水運用の工夫

- ◆水路網や清水の復元
- ◆水を生かした公園づくり
- ◆地下水位のモニタリング
- ◆水文化や愛護活動
- ◆親和性の高い水生生物の保全
- ◆家庭排水対策
- ◆農業用水管理との連携
- ◆河川の維持流量等の確保の研究
- ◆地下水位保全を図る貯水池運用の研究

<交流>

- 人材・組織の育成
- 水辺環境の活用
- 広域交流の促進

- ◆市民参加活動の拡充
- ◆将来を担う人づくり
- ◆水源地域のファンづくり
- ◆カヌー体験ゾーン形成
- ◆フィッシングゾーン形成
- ◆親水エリアのネットワーク
- ◆湖畔めぐりルートづくり
- ◆中島公園等の充実
- ◆水辺の利用のルールづくり
- ◆ブランドイメージづくり
- ◆地域間交流の促進
- ◆情報ネットワークづくり

活動における現状課題

これまでの活動における課題

- 【広報】 ■ 構成委員およびその関係者間での情報の共有
■ 水源地域、下流地域、周辺地域等への情報発信

- 【連携】 ■ 構成委員間での活動の連携
■ 地域住民や民間団体、関係機関との連携
■ 活動に対する支援

ビジョンの推進に向けて

課題を踏まえた次年度以降の活動の視点

【広報】 ■ 情報の共有 ⇒ 構成委員間の連絡体制の確立と会員への情報伝達の徹底

■ 水源地域への情報発信 ⇒ ホームページ(構成委員)の開設・更新・改善などによる情報提供の充実、大野市の広報紙の活用

■ 周辺地域等への情報発信 ⇒ 新聞や雑誌等のマスメディアの活用

【連携】 ■ 活動の連携 ⇒ 各種活動への相互参加および担当者による連絡会や交流会の実施

■ 水源地域との連携 ⇒ 地域住民や各種ボランティアとの連携促進、行政施策との連携

■ 周辺地域を含めた連携 ⇒ 関係機関等を通じた旅行会社等との連携・支援

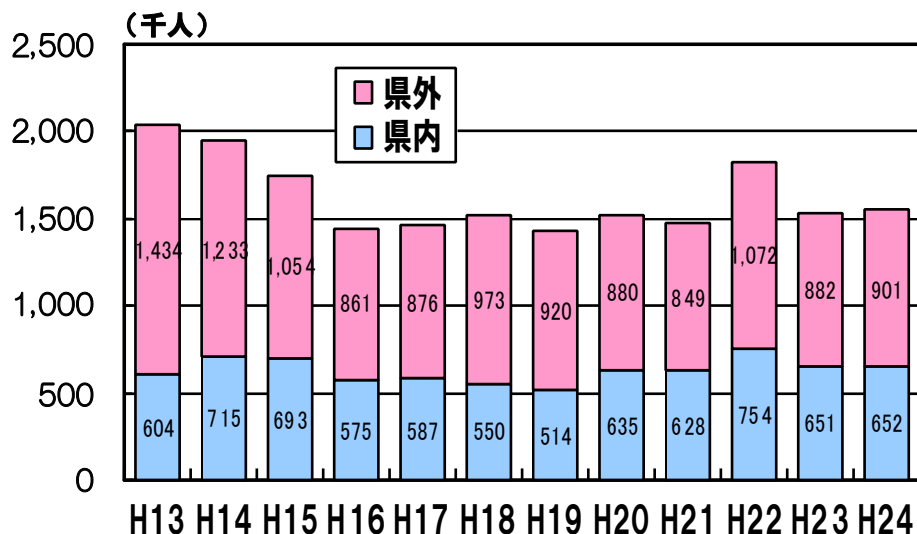
平成25年度の活動予定

平成25年度は、水源地域ビジョンに位置付けている各種取り組みの継続を図るとともに、構成委員間の連携の促進や、大野市で進めている“越前おおのブランド戦略”によるイメージアップ、中心市街地活性化プログラムによる地域間交流の促進、ダム見学や水源地域の観光資源を活用したエコツアー企画等の新たな活動の導入により、ビジョンの更なる推進を図っていく。

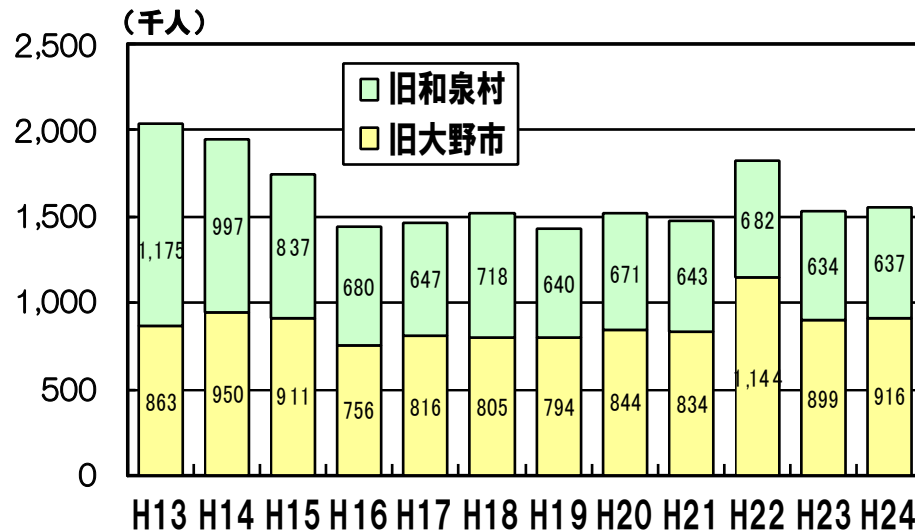
1. 森と湖に親しむ旬間行事
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり
3. もりみずカップ少年サッカー大会
4. 『水源地の森づくり』植樹会
5. 越前おおのエコフィールド
6. 越前おおの湧水文化再生計画
7. NPO法人九頭竜自然楽校
8. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ
9. 真名川ダム弾力的運用管理
10. ダム湖の自然環境保全の取り組み
11. 流木の有効活用
12. ダム湖周辺の紅葉情報提供
13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携
14. 真名川ダムのダム内部見学
15. 九頭竜ダム展示室
16. ノーム自然環境教育事務所
17. カヌーを使った水辺の安全教室

【参考資料】大野市の観光動向

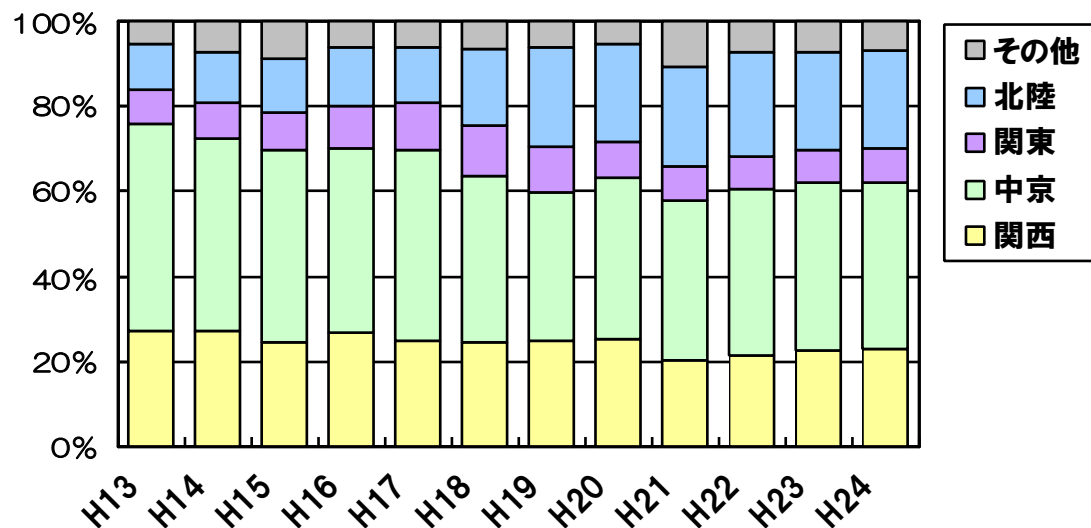
観光客入込み数内訳（県内・県外）



観光客入込み数内訳（旧大野市・旧和泉村）



県外観光客発地別内訳



■ 大野市における観光入込み客数は、平成13年以降減少を続け、平成16年ころからは横ばいとなっている。平成22年は越前大野城築城430年祭の実施効果により平成15年並に回復しているが、平成23年は震災などの影響により減少し、平成24年度は滞在型観光の推進などにより、155万3千人となった。

■ 全体の6割弱が県外からの観光客であり、県外客のうち中京方面からが約4割、関西方面と北陸方面からがそれぞれ約2割となっている。

※データ出典：大野市観光振興課
 ※H24については暫定値

【参考資料】大野市における観光地としての真名川ダムと九頭竜ダム

大野市における主要観光地の観光客入込み数

■ 大野市の主要観光地の観光客入込み数のうち、「九頭竜ダム周辺」の占める割合は15%程度、「真名川ダム周辺」の占める割合は1%程度である。

